

書道博物館 企画展

中村不折

なかむらふせつ

「僕の歩いた道」〈後編〉



日西東地生終烟迄未迄希
掛谷川初下下三丘尺短是短
河原九天



会期 1月4日[日] ~ 3月15日[日]

- 開館時間 9:30~16:30 (入館は閉館の30分前まで)
- 休館日 月曜日
- 観覧料 一般・大学生 500円(300円)
高・中・小学生 250円(150円)
()内は20名以上の団体料金
●毎週土曜日は台東区内在住・在学の小・中学生とその引率者の観覧料が無料になります。
●障がい者手帳をお持ちの方、及びその介護者は無料です。



- JR篠谷駅北口下車：徒歩5分
- 台東区循環バス「北めぐりん」@「入谷区民館根岸分館」(書道博物館)下車：徒歩3分
- ※駐車場はありません

【共催】東北大学東北アジア研究センター「出版文化資料データベース研究ユニット」(代表:磯部 彰)



書道博物館 CALLIGRAPHY MUSEUM

【主催】(公財)台東区芸術文化財団
【住所】〒110-0003 東京都台東区根岸2-10-4
【電話】03(3872)2645
【ウェブサイト】http://www.taitocity.net/taito/shodou/

書道博物館 企画展

中村不折

— 僕の歩いた道 — 〈後編〉

森鷗外、夏目漱石たちとの交流

会期

1月4日[日] ~ 3月15日[日]



書道博物館の創設者であり、画家・書家中村不折は、還暦に「僕の歩いた道」と題した自伝を残しました。本展では、この自伝をもとに前編と後編に分け、書道博物館所蔵のさまざまな名品で中村不折の生涯をつづります。

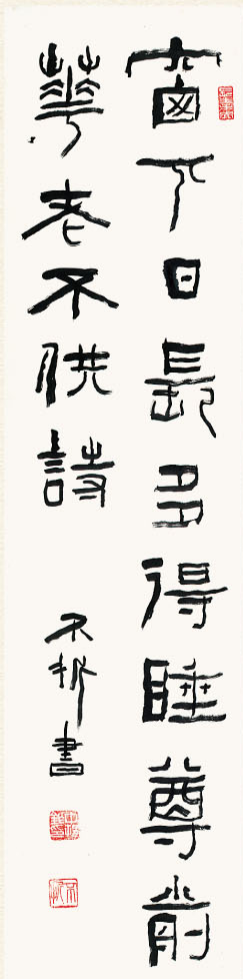
フランスより帰国後、不折は画家、書家として精力的に活動します。絵画では主に歴史画、書では六朝書を中心とした独特の作風を次々と発表し、日本画も数多く制作しました。また、若い頃に新聞挿絵を通じて知り合った明治の文豪たちとはその後も交流を持ち続け、文学作品の挿絵や雑誌の表紙なども手がけています。夏目漱石の『吾輩ハ猫デアル』の挿絵は、よく知られた作品です。

後編では、洋画界でのめざましい活躍を示す油彩画や、森鷗外もファンだった不折流と呼ばれる書作品、そして山水や中国故事の題材を得意とした日本画など、後年の不折作品を一挙に公開し、明治の文豪たちとの交流もあわせて紹介します。

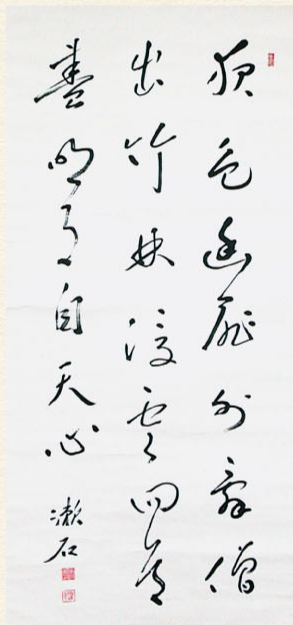
また今回、特別出品として、東北大学東北アジア研究センター及び東北大学附属図書館所蔵の中村不折や夏目漱石の作品、またその関係資料を、2月10日(火)から3月15日(日)までの期間限定で展示いたします。



中村不折「寒山拾得図」
大正～昭和時代
東北大学蔵



中村不折「古隸書二行」
大正～昭和時代
東北大学蔵



夏目漱石「書幅」
大正時代
東北大学附属図書館蔵



「夏目漱石名刺および名刺入れ」
明治時代
東北大学附属図書館蔵



夏目漱石「オックスフォード大学水彩画」
明治36～37年
東北大学附属図書館蔵



芥川龍之介「漱石忌短冊」
大正6年
東北大学附属図書館蔵



大谷纈石「漱石忌俳句」
昭和3年
東北大学附属図書館蔵



表面図版：中村不折筆「詩仙看瀑図」東北大学蔵

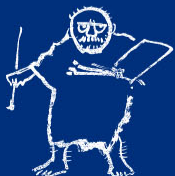
ギャラリートーク

「漱石との交流・漱石門下の人々」

東北大学学術資源研究公開センター史料館・曾根原 理 氏
2015年2月15日(日) ①10:00～、②13:30～

会場が手狭なため、どちらも事前申込制で各回20名。往復はがきの「往信用裏面」に、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、年齢、希望日時を、「返信用表面」に郵便番号、住所、氏名を明記して下記までお申込下さい。はがき1通につき1名の申込みとなります。聴講無料。ただし当日の観覧料が必要です。

申込先：〒110-0003 台東区根岸2-10-4
台東区立書道博物館 ギャラリートーク係
締切：①、②2月4日(水)必着



中村不折
「海内無双美男子 不折山人自惚之像」